

雪がた

— 豊科病院だより —



豊科病院広報誌
平成31年 2月12日 発行
発行者 豊科病院広報文化委員会
〒399-8205
長野県安曇野市豊科5777-1
Tel:0263-72-8400
URL <http://www.shironishi.or.jp/>

豊科病院の理念

自他を問わず人間を愛し、慈しむ心を礎に、病める人、障害を持つ人、悩める人に常に自分の家族に接するように優しく接し、最良の医療・福祉サービスを提供し、地域の人々の要求及び個別的要求にも応え、地域で人々が快適に生活できるような支援を行う。



豊科病院 開院100周年 記念号②

豊科病院 開院百周年にあたり

病院長 五味淵 満徳

当院は平成31年1月に、おかげさまで開院百周年を迎えました。

当法人自体は、明治19年11月、関查二郎医師が、東筑摩郡神林村に「豊精堂関療院」を創設したことに始まり



ますので、132年の歴史となりますが、当院は大正8年1月に、関忠英医師が「豊科の地に、その豊精堂関療院の分院として開院したため、百年」という節目の年となります。開院当時は、内科、外科等を標榜し、虫垂炎などは入院で加療し、その後、結核の治療も行っていた医療機関です。

昭和31年には精神科、神経科を開設し、本院の城西病院とともに、松本平、安曇野における精神科医療福祉および高齢者医療福祉に力を注いでまいりました。現在では、自立訓練事業所やグループホーム、または介護老人保健施設や訪問看護ステーション等の運営に結実しています。また、これらハード面だけでなく、我々職員は、患者さん自身の力で病気を治していくことを邪魔することなく、患者さんの安全・保障感が高まるような手助けができればよいと考えております。

百年の間、診療業務を続けて来ることができたのは、先人の努力もさることながら、患者の皆様、地域の皆様、行政機関、医師会および医療機関、障害福祉関連事業所、介護福祉関連

事業所など、多くの皆様のお力添えによるものです。
 この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。
 向後も、皆様のニーズにお応えできるよう地元
 密着且つ地域に根差した医療機関を目指し、職
 員一同努力してまいります所存です。

院歌紹介

この院歌は、院内で行われる各式典の冒頭で
 歌われるもの。

豊科病院の歌

作詞 関 守
 監修 関 昇
 作曲 山浦 鶴男

- 1 蒼空にそびゆる槍穂高 流れは清き梓川
 希望は高く永遠に 仁愛の旗ひるがえし
 医療の道に励みゆく 豊科病院栄あれ
- 2 炎熱そそぐプラタナス 嵐は荒ぶ冬の夜
 憂いは尽きず定めなき 病臥の人の苦しみに
 国手の腕のさゆるなり 豊科病院栄あれ
- 3 爛漫春の東山 紅葉映ゆる秋の色
 霞は晴れて朝日さし 癒えたる人の喜びに
 白衣の瞳涙あり 豊科病院栄あれ
- 4 歴史を誇る信濃路の 文化は香る安曇野に
 古松のみどり新しく 科学の粋を集めたる
 城西医学きずかなん 豊科病院栄あれ

城西医療財団の沿革

～ 豊科病院および豊科エリアのみ抜粋 ～

年号	年月	事由	備考
明治	19年11月	神林村に「養精堂閔療院」開設	後の城西病院
大正	8年 1月	豊科町に「閔療院分院」開設	
	9年 5月	閔療院分院を「豊科療院」と改称	
昭和	28年4月	豊科療院を城西病院に合併	
	31年 5月	豊科療院を「豊科病院」と改称。精神科・神経科開設	
	40年6月	作業治療農園購入	
	60年12月	豊科病院竣工式。内科病棟18床新設	全病床数198床
平成	62年10月	共同の住居「北寮」開設	H2.10廃止
	62年10月	精神科作業療法施設認可	
	62年12月	共同の住居「東寮」開設	後の第2飛鳥荘
	元年 4月	共同の住居「南寮」開設	後の第1飛鳥荘
	3年 4月	老人保健施設 安曇野メディア開設	
	4年10月	精神障害者グループホーム 第1飛鳥荘・第2飛鳥荘 認可(翌11月開設)	
	5年10月	共同の住居「安曇荘」開設	H11.3廃止
	6年12月	精神障害者生活訓練施設(援護寮)「アルプスドミトリー」新築開設	後のアルプスホーム
	7年 1月	精神科デイケア 認可	
	8年 1月	豊科病院 家族会「心の友の会」発足	
9年 4月	安曇野北訪問看護ステーション開設		
11年7月	居宅介護支援事業所「とよしな」 認可		
13年6月	安曇野北訪問介護ステーション開設		
14年3月	精神科病床を180床→140床へ変更	全病床数158床	
14年7月	3階病棟を精神療養型病棟へ変更		
24年4月	自立訓練(生活訓練)事業所「アルプスホーム」開設		
25年5月	宿泊型自立訓練事業所「アルプスホーム」新築開設		
26年3月	内科病床18床を廃止	全病床数140床	

城西医療財団 事業所マップ 2018.12.31現在

小谷

- ・ケアハウスいわかがみ
- ・‘S’ウェルネスクラブ小谷
(フィットネスクラブ)

安曇野 三郷

- ・ミサトピア小倉病院
- ・小倉ホーム
(グループホーム)
- ・「みさとびあ」
(居宅介護支援事業所)
- ・安曇野南訪問看護
ステーション
- ・パニー&キャロットハウス2
(ミサトピア小倉病院院内保育所)
- ・‘S’ウェルネスクラブ一日市場
(フィットネスクラブ)

松本

- ・城西病院
- ・リハビリテーションセンター
- ・健康センター
- ・デイケアセンター
- ・松本西訪問看護
ステーション
- ・松本西訪問介護
ステーション
- ・「松本しろにし」
(居宅介護支援事業所)
- ・燦メンタルクラブ
(地域活動支援センター)
(指定特定相談支援事業所)
(指定一般相談支援事業所)
- ・メンタルホーム, 景岳館
(グループホーム)
- ・‘S’クリーンネス
(就労継続支援B型事業所)
- ・‘S’ウェルネスクラブ松本
(フィットネスクラブ)



社会医療法人

城西医療財団

Shironishi Medical Foundation

—いつも優しく—



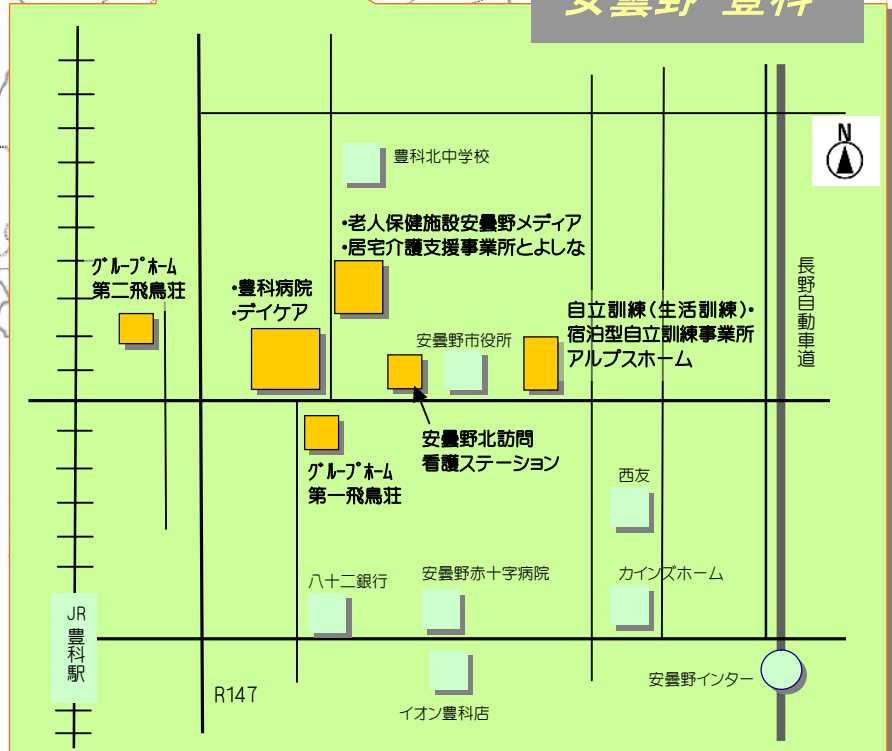
白馬

- ・神城醫院
- ・白馬メディア
(介護老人保健施設)
- ・「しろうま」
(居宅介護支援事業所)
- ・かたくりの郷
(認知症対応型
グループホーム)
- ・北アルプス訪問看護
ステーション
- ・北アルプス訪問介護
ステーション
- ・‘S’ウェルネスクラブ神城
(フィットネスクラブ)

大町

- ・北アルプス訪問看護
ステーション
サテライトおおまち

安曇野 豊科



OG職員から一言

百周年おめでとうございます。

看護師 金子 良子

思えば、私は昭和56年に城西病院に入職し、昭和62年には豊科病院に転勤し25年間勤務させて頂き、城西医療財団には通算33年程お世話になりました。豊科病院に転勤した頃は36歳と若くイケイケの時代でしたが、現在は古希を迎え感慨深いものがあります。

私の豊科病院25年間の勤務は、尊敬する4名の歴代院長 関俊子先生 高山紀夫先生 関東和先生 五味洸満徳先生と、2名の事務局長と共に歩むことができた最高に幸せな時間でした。豊科病院歴代の院長、事務局長は、患者さん目線且つ職員目線で、相手の立場に立ち、苦楽を共に歩み、職員には責任は俺がとる！と、何事にも強く温かい心で支えて下さった方々でした。

豊科病院は、スタッフも熱意ある同世代が多く、何事にも一丸となり活気あるエネルギーが溢れる職場でした。私は看護局長の職責にありましたが、豊科病院の理念 基本方針の作成と病院組織の方向性を考えながら、また、平成14年からは各委員会を設置が義務付けられ、指針の作成、活動等に追われましたが、職員の尽力により幾つもの苦難を乗り越えることができました。また、看護局に於いては組織図、教育、育成に関わるシステムの構築等、特に4名の強く優しく忍耐のある元病棟看護長には、長い年月看護局や私を支えて頂き、看護局の礎が強固となり、次世代に引き継がれたことを、この場を借りて感謝いたします。

今後豊科病院の益々の発展と、皆様の健康をお祈りいたします。

外来 医師担当表

平成31年 2月12日現在

	月	火	水	木	金	土
精神科	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	にしざと よしあき 西里 吉昭 医師	ごみぶち みつなり 五味洸 満徳 医師	おかざき たかし 岡崎 隆司 医師 ※診察時間 9:30~	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	ごみぶち みつなり 五味洸 満徳 医師
内科	いわさ たけひこ 岩浅 武彦 医師	休 診	休 診	まちだ りょうすけ 町田 良亮 医師	休 診	休 診

◎ 受付時間 午前 8:00~午前 12:00

◎ 診療時間 午前 9:00~終了まで

※ 午後は全科**休診**となります。

※ 日曜・祝日は全科**休診**となります。

※ご不明な点等は、受付へご確認下さい。
お問い合わせ先 電話 0263-72-8400

編集後記

前号の57号に引き続き、開院100周年記念号②をお届けしました。

100年前の大正8年とは…。その前年に終結した第一次世界大戦に関連してベルサイユ条約が締結。震災の代名詞でもある「関東大震災」は4年後の大正14年になります。時の流れを感じます。みなさんも身近な「大正8年生まれ(の出来事)」を探してみてください。

※表題「雪がた」について 春から夏にかけて北アルプスでは様々な雪形が見られ、当院からは常念岳の常念坊や、蝶ヶ岳の蝶などの雪形を正面に望むことが出来ます。雪形が季節の変化に合わせて融けるように、患者様の病も融ける・・・表題にはそんな願いが込められています。